

長い間、地元の人によって里山の木は炭や薪に、谷戸は田んぼや畑として利用されていましたが、昭和40年代以降社会の変化と共に使われなくなりました。

昭和30年代までこのような所にはたくさんの種類の生き物が生息し、生物多様性に富んだところでした。

人の手が入らなくなってやや少なくなったものの、ここには今では珍しくなった貴重な生き物がいろいろいます。

2015年、神奈川県自然保護協会が選ぶ県内生物多様性ホットスポットとして選定されました。

あつぎこどもの森公園憲章

私たち厚木市民は、「あつぎこどもの森公園」において、多くの生き物に恵まれた自然環境や里山の文化などの資源を守り、いかしながら、遊んで学んで元気になれる自然体験活動を通じてたくましい子どもたちを育てる取組を推進するため、この憲章を定めます。

- ・ 私たちは、厚木市の生き物にとって重要な場所である「あつぎこどもの森公園」の自然環境を守り、育て、その大切さを伝えます。
- ・ 私たちは、里山の自然環境の特性をいかした様々な体験の機会を子どもたちに提供し、生きる力を育みます。
- ・ 私たちは、里山で継承されてきた農業や暮らしの知恵を伝承し、新たな里山の文化を育てます。

制作 ©あつぎこどもの森クラブ自然プロジェクトグループ 通巻74号

写真 吉田文雄・ナカノジュンゴ・青砥航次

連絡先 あつぎこどもの森公園管理棟 046-210-3433

E-mail atsugikodomonomorikurabu@gmail.com

HP: <https://atsugikodomonomori.com/>

木の実・草の実・キノコ

2022年11月19日(土)



チヂミザサ

主催 あつぎこどもの森クラブ

このパンフレットのバックナンバーは下記からダウンロードできます
<https://atsugikodomonomori.com/guidedwalk>

秋はみのり

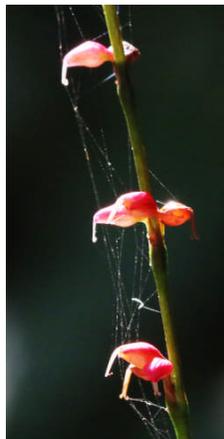
秋はみのりの季節、植物は次の世代へ命をつなぐ種を蒔くための、いろいろな戦略を持っています。その仕組みは？



イノコツチ



キンミズヒキ



ミスヒキ



コメナモミ



チシミザサ



ゴンズイ



ガマズミ



マルバノホロシ



ヤブラン



ツルニンジン

いろいろな種がどのように運ばれるのか、カイドと一緒に考え、想像してみましょう。

最近のこどもの森公園

11月
12日

植物



シロヨメナ



ヤクシソウ



ガンクビソウ



ベニバナポロギク

公園開設の頃はたくさん見られたがその後少なくなった。大規模な危険木伐採があった今年、再び多く見られるようになった。



陽だまりで早くも咲いた。
タチツボスミレ



キチジョウソウ



キツネノマゴ



葉先にはもう雄花の蕾がぎっしり付いているが葉の根元には雌花も見られる。
スギの雌花の蕾



オニシバリ蕾

キチジョウソウやキツネノマゴは地面近くでひっそり咲いています。

キノコ類



チャカイガラダケ



カワラダケ



シイタケ

シイタケは、里山の暮らし体験として公園内で栽培しています。イベントなどに参加したときの参加賞などにも使います。

今年は、ナラ枯れに関係すると言われるカエンダケが話題になっていますが、ここではまだ見つかっていません。キノコは自然の中で、有機物を土に戻す大事な役割をしています。



ナミガタタチゴケ(蘚類)
スギゴケの仲間



シヨクダイゴケ(地衣類)
切り通しの土留めネット上

蘚苔・地衣類

昆虫



ウラナミシジミ

暖かい地方で越冬し、世代を繰り返しながら北上する。なのでこの辺りでは秋になると姿を現す。



ヒメクロホウジャク

風行性のスズメガ科の蛾。ホウジャクは漢字では蜂雀。アメリカ大陸のハチドリとよく似てホバリングして蜜を吸う。



ツチイナゴ
垂れ目に特長。成虫で越冬する。



クビキリギス
成虫で越冬する。4月頃から鳴き始める。



マツヘリカメムシ左とオオトビサシガメ右



セスジツユムシ

マツヘリカメムシは北米原産の外来種で、マツの害虫。すでに近隣のゴルフ場などで繁殖している可能性がある。在来のオオトビサシガメ成虫と外見は似ている。



オオ
アイトトンボ

センサーカメラがとらえた画像



10月から11月にかけてニホンジカ以外は記録されませんでした。

左は、交尾してるところです。

雄ジカは角の形をよく見ると個体識別ができます。下の写真の4頭はみな違います。

また、上の写真の雄も下の4頭とは違うようです。



活動の記録

看板づくり

あつぎこどもの森公園は、神奈川県内で第一級の里山的自然の豊かなことが特長です。

ここは遊びの場であることと共に、子どもたちが自然を学ぶ場でもあります。そのためにここの生態系に配慮した管理をして、後世に残すことも大事なことです。

訪れる人に、この公園をよりよく知って貰うためにどのような管理をしているのかなどについてお知らせすることが大事なのに、今まであまりできていませんでした。というわけで、看板づくりを始めました。現在20枚近く設置しましたので、注意してみてください。



こどもの森オータムフェスタ 11月3日

自然PJでは、「いきものガイド」「草木染め体験会」「ドングリを拾って森づくり」を行いました。



いきものガイド

- 左 顕微鏡で観察
- 右 落ち葉で貼り絵
- こどもの作品



ドングリを拾って森づくり

今年はドングリ不作であまり拾えませんでした。

森を歩いて、来年のために実生の苗をポットに移すことと、昨年のドングリから育てた、クヌギやコナラの苗を、ムササビの道脇に植えました。

5年後には、森の形になる事でしょう。参加のみなさんご苦労様でした。



こどもの森ガイドウォーク（自然観察）原則毎月第3土曜日

ガイドウォークはコロナの蔓延期間中定員20名にしています。原則事前申し込み制で、定員に空きがある場合は当日参加もできます。会員に限らず誰でも申し込みます。

管理棟集合		参加無料どなたでも参加できます。		開始時間要確認	
4月16日	スミシの秘密	10月15日	秋の花		
5月21日	キアシドクガ	11月19日	木の実・草の実・キノコ		
	一手すりの上のドラマー	12月17日	生き物の冬越し		
6月18日	木に咲く花	2023年			
7月16日	樹液の酒場	1月21日	冬の野鳥		
8月20日	水辺の生き物	2月25日	冬芽とコケ		
9月17日	谷戸のシダ	3月18日	春の兆し		



水辺の生き物調査隊（申し込み制 年間メンバー固定）

- 4月10日 こどもの森公園と水生生物について
- 5月 8日 両生類～カエル・イモリについて
- 6月12日 ホタルについて
- 7月10日 水生カメムシについて
- 8月21日 トンボについて
- 9月23日 河川調査について
- 10月 2日 外来生物について
- 10月16日 水生コウチュウについて 七沢遠足
- 11月13日 ホトケドジョウについて
- 12月11日 冬の生き物の過ごし方
- 1月 9日 落ち葉かき・カブトムシ増やし
- 2月12日 トンボの幼虫を絵に描こう
- 3月12日 ヤマアカガエルについて



植物モニタリング

原則毎月第2金曜日の9:30から 決まったコースを歩いて出現する植物を記録します。植物を覚えたい方により機会です。会員対象

草木染め勉強会

園内にある植物を使って草木染めをいろいろ試してみようという会です。毎月第3金曜日午前中。 会員対象です。（入会はいつでも受付けています）

いきものガイド

東京農大学生による生き物調べお手伝い 第1, 第3日曜13時 ~15時